



滝沢市消防団第6分団(担当一本木地区)

第58号

今号の主な内容

- 市民懇談会……………①
- 市民議会……………②～③
- 一般質問……………②～④
- かっこうのさえぎり/
議決一覧/今後の予定など…④

発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会

【滝沢市学童保育連絡協議会】

令和6年12月18日開催



ひかりの森学童クラブ

懇談会前に市連協に加盟している
4施設を視察し、学童保育の
適正規模や各クラブの現状と課題を
伺い、意見交換しました。



巣子学童保育クラブ第一



巣子学童保育クラブ第二



巣子学童保育クラブ第三

市民懇談会

滝沢市議会では、市民団体と議員が情報や意見を交換する場として「市民懇談会」を開催しています。各団体から申し込みがあった場合または議会から申し込んで開催します。



テーマ【子ども達の未来のために】

①安全な地域づくり

②地域での学びの場づくり

を中学校区ごとに懇談し、話題となったことを
グループごとに発表しました。



【滝沢市PTA連絡協議会】

令和7年1月27日開催

のが増える
過ごしやすい



▼滝沢第二小学校

たちばな やまと

立花大和さん「妹が生まれて気づいたこと」

ベビーカーを使うことでバリアフリーの多さなど、ぼくの周りには誰にとってもやさしい設備がたくさんあることに気がつきました。困っている人を助けてあげれば、みんなが安心して生活できる社会になると思います。

みうらともゆき

三浦朝之さん「安心・安全に暮らせるまち滝沢」

公共施設などではバリアフリーが浸透する一方、滝二小学区ではたくさん危険がひそんでいます。ここ滝沢市に住みたいと思える環境づくりを官民が連携しながら市が発展することを願います。



▼滝沢中央小学校

いとうしん

伊藤心さん「みんなのためにできること」

福祉とは「ふだんのくらしをしあわせに」の頭文字です。お年寄りが安心して生活するために、滝沢市が行っている取り組みとこれから考えている取り組みを教えてください。

ないとうさとみ

内藤里美さん「みんなのためにできること」

まだまだ福祉の手を差し伸べられるのを待っている方がいるかもしれません。市として、そのような方を一人でも少なくするような取り組みや実績を教えてください。

の設置やす
なので、皆

学校

ん(欠席のため長瀬さんに代読いただきました)

支える ふるさと滝沢」

通して、心に残る大切なものはすべて、このふるさと滝沢から始まること。これからも伝統を生かしたまちづくりや、人とのコミュニケーションを深める取り組みが続く滝沢市であってほしいと思います。

ん「私の道を支える ふるさと滝沢」

が年に一度チャグチャグ馬コと触れ合える取り組みを提案します。校庭で触れ合える経験が、自分のふるさとへの愛着のきっかけとなると思います。



【テーマ】
ともに生きる滝沢
令和7年2月2日開催

50年の長い
です。中学生
に思います。



▼滝沢東小学校

せきむらほのか

関村歩叶さん「誰でも楽しめる公園にするために」

アスレチック遊具やボール遊びができる公園、ドッグランや散歩コースがある公園を整備することで年齢に関係なく、誰でも楽しめる公園になると思います。そのような公園が増えていくことで、より魅力ある滝沢市になると考えます。

せきむらなみち

関村直道さん「滝沢市に住んで思うこと」

地域で空き家を活用して、人口を減らさないための魅力づくりが必要だと思います。また、デジタルに不慣れな人を置いていかないような対応をお願いします。



が地域の「と
地域と共に

土砂災害警戒区域
の追加に伴う
対応について

【問】土砂災害警戒区域などの認知度向上を図るための取り組みは。

【答】市のHPで閲覧できる「たきざわeマップ」のシステム改修を行った上で、広く周知を図ります。

【問】土砂災害に対する予報、警報につながる科学的知見の収集は。

【答】国、県および盛岡地方気象台と連携し、土砂災害予測技術の向上に係る情報収集に努めます。

【問】避難場所、避難経路

【問】土砂災害に対する予報、警報に対する科学的知見の収集は。

【答】国、県および盛岡地方気象台と連携し、土砂災害予測技術の向上に係る情報収集に努めます。

【問】避難場所、避難経路



会派に属さない議員
おくつ かずとし
奥津 一俊 議員



▲鶺鴒滝向の急傾斜地

議員からひとこと

過去の土砂災害事例から、住民に危険性が十分に伝わっていなかったことや避難体制が不十分だったことが明らかとなったことから質問しました。

中学校の
部活動所属
について等

【問】本市の部活動の方針に「部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われているものであることに留意すること」とある。

【答】盛岡市のように「ただし、部活動のもつ意義等を説明したり、加入を推奨したりすることを妨げるものではないこと」と但し書きを加え、新年度に向け各中学校に示すべきでは。

【問】中学校プール授業の廃止に伴う着衣水泳の実施は。

【答】近隣の小学校への移動が容易である場合や、時間の確保ができる場合



会派に属さない議員
ふじわら おさむ
藤原 治 議員



には実施することが望ましいとしていきます。



議員からひとこと

学習指導要領解説が一部改訂され「部活動に全生徒が一律に加入しなければならないものではない」と明記された。保護者生徒に明確に伝えるべきでは。

▼柳沢小学校

ささきゆな 佐々木結菜さん「誰もが住みよいまち」
障がいがある人もない人も誰もが住みよい滝沢にするために、障がいや福祉をよりたくさんの人に知ってもらう行事として「十人十色フェス」の開催を提案します。

ささききりこ 佐々木桐子さん「誰もが住みよいまち」
子ども達や地域の人たちが安全に過ごせ、子ども達の居場所、地域のつどいの場がもっと身近にできたらと思います。



▼滝沢小学校

はとりみお 羽鳥望桜さん「誰にでもやさしい街づくり」
滝沢市の身近な施設や場所でユニバーサルデザインを取り入れたものと、どの人も住みやすい所になると考えました。みんなにやさしく、やさしい滝沢になることを考えていきたいです。

ささきあや 佐々木亜弥さん「子どもが安全安心に過ごせる滝沢」
子ども達の命を守るために、滝沢ふるさと交流館の交差点に歩道橋、クランブル交差点の設置を提案します。しかし、現実的には難しいようなアイデアを伺いたいです。

▼一本木小学校

いいおかるな 飯岡月煌さん「みんなに優しいまちに」
お年寄りや認知症の方が暮らしやすいように、福祉バスの本数や路線を増やしたり、認知症の方むけのタクシーを作ったりするのはいかがでしょうか。誰かが困っている時にすぐ気がついて助けられる、優しさがあふれる滝沢市になって欲しいです。

いいおまりこ 飯岡真理子さん「みんなに優しいまちに」
滝沢市の運動機能向上教室は、開催会場までの交通手段がないという課題が考えられ、心配なく会場へ向かえる手段があることが理想の形と考えます。



▼鶴飼小学校

やまざきめい 山崎萌衣さん「私の道を大切に」
小学校生活を大切にしたいと実感しています。夢を大切にしたいです。

ながせれいこ 長瀬怜子さん「市内の小学生に馬が来て触れたい」

市民議会を開催しました!



▼姥屋敷小学校

ながみねあきひと 長嶺明仁さん「姥屋敷の地域のつながりを守るために」
地域の行事に参加するのは子どもやその親とお年寄りがほとんどで、高校を卒業して姥屋敷から出て行った若い人たちが帰ってくることは少ないです。若い人たちがたくさん参加してくれると、もっと活気づいて盛り上がると思います。

みやばやしめぐみ 宮林恵さん「やさしさに出会える姥屋敷」
市民の皆さんも姥屋敷に来て、遊んで、学んで、交流していただき、やさしさに出会って、ぜひ胸が熱くなって欲しいです。



▼篠木小学校

やぎみさき 八木岬さん「篠木小学校について」
篠木小の良い所は電車通学でのルールが身につくことや、歴史があり、伝統芸能を通して地域の人と交流できることなどです。これからも篠木小で学んだことを忘れず、頑張っていこうと思います。

やぎたくみ 八木巧さん「これからの小岩井」
自治会活動では親世代の参加が少ないです。東日本大震災で「命を守る」ことが見直された機会だったことを思い出して、深く生活ができるようにと思っています。

【問】噴火災害時の急所施設の上下水道対策は。
【答】 停電対策として取水施設および浄水施設に非常用発電設備を備えており、水源間の相互融通を強化するため盛岡広域での連携を進めます。
【問】馬産農家へ補助は。
【答】 市有馬の無償譲渡の取り組みに加え、新たな飼養頭数を増やす取り組みは検討が必要と考えますが、共同馬主制度や預託施設、経済的支援の在り方を含め調査研究が必要と考えています。
【問】重層的支援体制整備事業の進捗状況は。
【答】 他分野連携会議として、庁内関係課のプロジェクトチーム会議、庁外機関を含めた推進会議を開催し、実施計画などの確認を行いました。

災害拠点の上下水道対策について等



会派に属さない議員
かのふくお
菅野 福雄 議員
QRコード

【問】物価高騰対策の緊急直接支援の考えは。
【答】 配合飼料費をはじめとした生産コストの高騰や家畜市場価格の下落などにより、酪農家・畜産家は経営に大きな影響を受けていると捉え、来年度には酪農家・畜産農家に対して支援していきます。
【問】多様な担い手が意欲と希望をもって生産に取り組める政策は。
【答】 市は、家族経営をはじめ、大規模経営や法人、新規就農などさまざまな経営形態により持続的に酪農業や畜産業を継続していけるよう、農家の皆様と意見交換をしながら引き続き支援をします。
【問】県では事業者支援となる配合飼料価格安定緊急対策補助の補正予算が可決されたが市の対応は。
【答】 酪農家や畜産農家が、今後も経営を維持していくよう、来年度は支援を行います。

本市の酪農・畜産について



日本共産党
かわぐち きよゆき
川口 清之 議員
QRコード

議員からひとこと
各関係機関の相談件数が増加し、8050問題や引きこもり、子育て世代の孤立など、複雑化、複合化が見られ、重層的支援体制整備事業の充実が求められています。



議員からひとこと
現在、酪農家や畜産業者を取り巻く環境が、物価高騰などで大変厳しいものになっているので、市の対応を聞いてほしいと要望されたことから、質問しました。





かっこうのさえずり No.13

市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。

地域の安全・安心を守りたい 井上 真澄 さん



プロフィール

- 出身地：北海道伊達市
職業：フリーフォトグラファー
趣味：アウトドア(キャンプなど)
第6分団で初めての女性団員(入団8年目)
小中学生4人のお母さん

私が最も伝えたいこと

女性消防団員になって

《入団のきっかけ》

以前からボランティアに興味があり、消防団活動をしている夫の姿を近くで見ること、私も何かできないかと考えていました。夫からポンプ車は2人以上の出動が原則と聞いており、夫婦で出動できれば迅速に消火活動に向かえるのではと考え入団しました。

《活動して気付いたこと》

男性中心で行ってきた活動なので、体力が追いつかず大変でした。活動してみても家庭、仕事、消防団と3つの立場を両立していくのも難しいと感じました。また、火災現場でのトイレの確保も重要と考えています。

《団員になって良かったこと》

女性だからなどの偏見もなく分団に自然に受け入れてもらい、自由に活動させてもらっています。力仕事は厳しいですが、ポンプ車の操作などの技術を学べて、やりがいを実感しています。

今後の活動への思い

《地域を守る》

子ども達からも「消防団に入りたい。お母さん頑張ってる」等の声を掛けられています。家族で地域の安全・安心を守っていければと考えています。地域の子育て世帯のお母さんやお父さんたちと、心肺蘇生法など救急救命法を学ぶ場を作りたいです。



令和7年2月会議(2月4日~2月5日) 議案9件・発議1件を審議

●可決議案 ※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

単位：千円

Table with 3 columns: 議案番号, 議案内容, 金額. Includes items like 6年度一般会計補正予算(第8号) 723,947.

Table with 2 columns: 議案番号, 議案内容. Includes items like 一般職員の給与に関する条例の一部改正.

●上記の内、賛否が分かれた議案

Table showing voting results for various proposals, including names of council members and vote counts.

傍聴者からの意見・感想(12月会議)

【意見】 猟友会としては、今解決出来ない問題には、時間をかけないことを望みます。猟友会は、市から要請されると断ることなく協力している。通学路の草刈が進んでいると言っているようだが、決して進んでいると思えない。解体場所も早急に進めてほしい。

【回答】 今後議会として注視し、対応が進むようにさまざまな機会を捉え市当局へ働きかけを行います。

【意見】 生産者の補助制度の拡充や、市街化調整区域内の遊休資産の活用ができるような方法があるか議論してほしい。

【回答】 今後議会として注視し、対応が進むようにさまざまな機会を捉え市当局へ働きかけを行います。

4~5月の予定

Table with 2 columns: 日付, 会議内容. Shows dates like 4月10日(木) and 5月13日(火).

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。いずれの会議も傍聴することができます。お気軽におこしください。

議会におでんせ!

傍聴者数 2月会議...7名



滝沢市議会 検索

市議会のくわしい情報は、滝沢市議会ホームページをご覧ください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



特産品や名産品などの掘り起こしについて等
【問】水道水の特産品化は。
【答】水道水として地下水の良さを市内の水道利用者に伝え、豊富な水資源を将来に向けて保全していくとともに、生活の基盤である水資源が豊かな環境であることを市外へPRし交流人口・定住人口増をめざします。

【問】第三者の目を通じた特産品や名産品などの掘り起こしは。
【答】農産物地域ブランド化推進事業で6次産業化や農産物のブランド化の支援および助言を委託事業として取り組む等、外部資源を活用した地域産品の掘り起こしを行います。

議員からひとこと

地域の特産品や名産品は本市の宝です。地域にはまだまだ多くの宝が眠っています。宝を掘り起こし、それをきっかけに地域の活性化が図られると思っています。



Portrait of Council Member Oda Shima Kiyomi with contact information and QR code.